

事務事業マネージメントシート

作成日 平成27年 04月 09日

事務事業名	安全安心の地域づくり推進事業				担当	市民生活部 安全安心課 生活安全係									
政策名	F	市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり				増補版施策名									
施策名	2	協働によるまちづくり				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業									
関連個別計画						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ								
法令根拠							<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成17年度~)								
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	1.一般管理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)										
事業概要	<p>平成16年まで実施してきた総合地域づくり事業(交通安全推進)を引き継ぎ、17年度から交通安全のほか、防犯、防災についての活動も取り入れてスタートした。 事業内容は、地域で実施する次のような活動へ助成する。 座談会の開催(交通安全、防犯、防災、消費生活)1区3万円限度。 安全安心活動1区5万円限度。交通安全活動(飲酒運転撲滅運動、街頭指導、危険箇所調査点検活動)防犯活動(地域防犯パトロール等の実施)防災講習、火災予防、救急救命講習の開催。</p>														

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 26年度実績 安全安心の地域づくり推進事業	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移									
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)			
27年度計画 26年度と同じ	ア:助成額	千円	2,803	2,817	2,860	2,801	3,272			
	イ:座談会等を実施した自治会数	区	126	123	129	128	134			
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 区	ウ:安全安心活動を実施した自治会数	区	51	55	55	56	60			
	エ									
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 地域における犯罪・交通事故を防止するとともに、災害時における地域住民の協力体制の確立と意識の高揚を図り、安全で住み良い地域社会を実現する。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移									
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)			
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 市民の安全安心への関心を高める。	ア:市内自治会数(区)	区	134	134	134	134	134			
	イ									
⑤成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移	ウ									
	エ									
⑥上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移									
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)			
⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移	ア:交通事故件数(毎年)	件	302	229	212	211	78			
	イ:犯罪発生数(真岡署管内:毎年)	件	1,198	1,028	956	848	770			
(2) 総事業費の推移	ウ:火災発生件数(年)	件	19	30	26	26	14			
	エ									
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	⑨結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移									
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)			
⑩結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移	ア:自然災害からの安全性が高いと思う市民の割合	%	69.9	71.3	67.9	71.7	76.0			
	イ:日ごろから危機に不安を感じている市民の割合(市民意向調査)	%	69.3	73.5						
⑪結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移	ウ:真岡市で生活するうえで犯罪に不安を感じている市民の割合(市民意向調査)	%			72.5	54.3	50.0			
	エ									
⑨結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		⑩結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
⑪結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		⑫結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
⑬結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		⑭結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
⑮結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		⑯結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
⑰結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		⑱結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
⑲結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		⑳結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
⑳結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉑結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉑結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉒結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉒結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉓結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉓結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉔結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉔結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉕結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉕結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉖結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉖結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉗結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉗結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉘結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉘結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉙結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉙結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉚結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉚結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉛結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉛結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉜結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉜結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉝結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉝結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉞結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉞結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移		㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
㉟結果指標(対象における意図された対象の程度)の推移</										

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域での取組みが、安全安心なまちづくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域での安全安心への取組みへの支援である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 区を対象としている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 各区で安全安心の取組みがなされている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 安全安心なまちづくりに支障が出る。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 地域の実状に合わせて、必要な事業を実施する方法である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？		

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		